

殿

S D S

品名：ラバロンプラス (ソフトVCT)

 **富士電線工業株式会社**

〒582-0001 大阪府柏原市本郷5丁目5番48号

安全データシート

1. 化学物質等及び会社情報

製品名 電気用銅線
会社名 富士電線工業株式会社
住所 大阪府柏原市本郷5丁目5-48
担当部門 技術部 技術課
電話番号 072-973-0711 FAX番号 072-973-0111
緊急連絡先 総務部 072-972-5151

整理番号 SDS-00001

2. 組成、成分情報

単一物質・混合物の区分	単一物質
化学名又は一般名	銅(Cu)
成分及び含有率	銅 99.9%以上
化学式又は構造式	Cu
官報公示整理番号(化審法・安衛法)	該当しない
CAS番号	なし

3. 危険有害性の要約

分類の名称	該当なし
危険性	該当なし
有害性	該当なし
環境影響	該当なし

4. 応急処置

目に入った場合	直ちに洗眼し銅線を除去する。 症状によっては医師の診断を受ける。
皮膚に付着した場合	該当なし
吸入した場合	該当なし
飲み込んだ場合	吐き出させ、医師の診断を受ける。

5. 火災時の措置

消化方法	発火性なし
消化剤	該当なし

6. 漏出時の措置

固形物であり、掃き集めて回収する。回収した銅線は、銅屑業者又は銅地金業者に引き渡してリサイクルする。

7. 取扱い及び保管上の注意

取扱い	銅線の末端で手を傷つける場合があるので、保護手袋を着用して取扱う。
保管	雨水に濡らさないよう注意する。 保管場所は平坦な場所とする。傾斜している場所や不安定な場所で保管する場合は荷崩れの原因となるので、注意すること。

8. 暴露防止及び保護措置

管理濃度	該当なし
許容濃度	日本産業衛生学会(年度版): A C G I H(年度版):
設備対策	該当なし
保護具	呼吸保護具 該当なし 保護眼鏡 該当なし 保護手袋 手先を損傷する可能性がある場合は、 保護手袋を用いること。 保護衣 該当なし

9. 物理的及び化学的性質

外観等	銅色	比重	8.89(20℃)
沸点	2580℃	揮発性	N/A
融点	1083℃	初留点	N/A °C
溶解度(水)	不溶	その他	N/A
蒸気圧	N/A Pa(°C)		

10. 安全性及び反応性

安定性	硫酸、硝酸等の酸に可溶
反応性	硫酸、硝酸等の酸に可溶
可燃性	不燃
発火点	該当なし
酸化性	CuO、Oを生成するが、危険性はない
自己反応性・爆発性	該当なし

11. 有害性情報

皮膚腐食性	該当なし
刺激性(皮膚、眼)	該当なし
感作性	該当なし
急性毒性(50%致死量等を含む)	該当なし
亜急性毒性	該当なし
慢性毒性	該当なし
がん原性	該当なし
変異原性(微生物、染色体異常)	該当なし
生殖毒性	該当なし
催奇形性	該当なし
その他	該当なし

12. 環境影響情報

分解性
蓄積性
魚毒性
その他

該当なし
該当なし
該当なし
該当なし

13. 廃棄上の注意点

リサイクル可能物質なので、処理業者に委託、回収して再利用する。

14. 輸送上の注意

一般重量物運搬上の注意

15. 適用法令

PRTR法 該当なし

16. その他の情報

ここに記載された内容は、現時点で入手できる資料・情報・データに基づいて作成しており、新しい知見により訂正されることがあります。

安全データシート

1. 化学物質等及び会社情報

製品名 耐熱絶縁用塩化ビニルコンパウンド
(ソフトVCTFプラス、ラバロンVCT、ラバロンプラス(ソフトVCT))
会社名 富士電線工業株式会社
住所 大阪府柏原市本郷5丁目5-48
担当部門 技術部 技術課
電話番号 072-973-0711 FAX番号 072-973-0111
緊急連絡先 総務部 072-972-5151

整理番号 SDS-00039

2. 組成、成分情報

単一物質・混合物の区分 混合物
化学名又は一般名 ポリ塩化ビニルコンパウンド

成分及び含有率

(成分)	(CAS No.)	PRTR	含有率(%)
塩化ビニル樹脂	—	対象外	45~55
可塑剤	—	対象外	10~20
充填剤	—	対象外	10~20
安定剤	—	対象外	1~5

3. 危険有害性の要約

分類の名称 該当なし
危険性 該当なし
有害性 該当なし
環境影響 燃焼時、塩化水素ガスを発生する

4. 応急処置

目に入った場合 直ちに洗眼し、コンパウンドを除去する。
症状によっては医師の診断を受ける。
皮膚に付着した場合 溶融樹脂が付着した場合には、火傷の処置を行なう。
吸入した場合 該当なし
飲み込んだ場合 吐き出させ、医師の診断を受ける。

5. 火災時の措置

消化方法 初期の消火には散水・炭酸ガス・乾燥砂を用いる。
大規模火災の際には、泡消化剤等を用いて空気を遮断する
消化剤 水・粉末・炭酸ガス・泡・乾燥砂

6. 漏出時の措置

固形物であり、掃き集めて回収する。回収したコンパウンドは、自社または処理業者に引き渡してリサイクルする。

7. 取扱い及び保管上の注意

取扱い 火気を近付けない。
保管 直射日光を避け換気の良い冷暗所に保管する。

8. 暴露防止及び保護措置

管理濃度	該当なし
許容濃度	該当なし
設備対策	該当なし
保護具	呼吸保護具 保護マスク 保護眼鏡 保護眼鏡 保護手袋 保護手袋を用いること。 保護衣 該当なし

9. 物理的及び化学的性質

外観等	固体	比重	1.2~1.6(20°C)
引火点	N/A	揮発性	N/A
着火点	400°C付近		
溶解度(水)	不溶		

10. 安全性及び反応性

安定性 安定
反応性 熱分解を起こすと塩化水素ガスを発生する。

11. 有害性情報

皮膚腐食性	該当なし
刺激性(皮膚、眼)	該当なし
感作性	該当なし
急性毒性(50%致死量等を含む)	該当なし
亜急性毒性	該当なし
慢性毒性	該当なし
がん原性	該当なし
変異原性(微生物、染色体異常)	該当なし
生殖毒性	該当なし
催奇形性	該当なし
その他	該当なし

12. 環境影響情報

分解性	該当なし
蓄積性	該当なし
魚毒性	該当なし
その他	該当なし

13. 廃棄上の注意点

リサイクル可能物質なので、処理業者に委託、回収して再利用する。

14. 輸送上の注意

一般重量物運搬上の注意

15. 適用法令

PRTR法 該当なし

16. その他の情報

ここに記載された内容は、現時点で入手できる資料・情報・データに基づいて作成しており、新しい知見により訂正されることがあります。

安全データシート

1. 化学物質等及び会社情報

製品名 シース用塩化ビニルコンパウンド
(ラバロンVCT、ラバロンプラス(ソフトVCT))
会社名 富士電線工業株式会社
住所 大阪府柏原市本郷5丁目5-48
担当部門 技術部 技術第二課
電話番号 072-973-0711 FAX番号 072-973-0111
緊急連絡先 総務部 072-972-5151

整理番号 SDS-00044

2. 組成、成分情報

単一物質・混合物の区分 混合物
化学名又は一般名 ポリ塩化ビニルコンパウンド

成分及び含有率

(成分)	(CAS No.)	PRTR	含有率(%)
塩化ビニル樹脂	—	対象外	40~50
可塑剤	—	対象外	35~45
充填剤	—	対象外	5~15
安定剤	—	対象外	1~5
三酸化アンチモン	1309-64-4	1種31	1.6

3. 危険有害性の要約

分類の名称 該当なし
危険性 該当なし
有害性 該当なし
環境影響 燃焼時、塩化水素ガスを発生する

4. 応急処置

目に入った場合 直ちに洗眼し、コンパウンドを除去する。
症状によっては医師の診断を受ける。
皮膚に付着した場合 溶融樹脂が付着した場合には、火傷の処置を行なう。
吸入した場合 該当なし
飲み込んだ場合 吐き出させ、医師の診断を受ける。

5. 火災時の措置

消化方法 初期の消火には散水・炭酸ガス・乾燥砂を用いる。
大規模火災の際には、泡消化剤等を用いて空気を遮断する
消化剤 水・粉末・炭酸ガス・泡・乾燥砂

6. 漏出時の措置

固形物であり、掃き集めて回収する。回収したコンパウンドは、自社または処理業者に引き渡してリサイクルする。

7. 取扱い及び保管上の注意

取扱い 火気を近付けない。
保管 直射日光を避け換気の良い冷暗所に保管する。

8. 暴露防止及び保護措置

管理濃度	該当なし
許容濃度	該当なし
設備対策	該当なし
保護具	呼吸保護具 保護マスク 保護眼鏡 保護眼鏡 保護手袋 保護手袋を用いること。 保護衣 該当なし

9. 物理的及び化学的性質

外観等	固体	比重	1.2~1.6(20°C)
引火点	N/A	揮発性	N/A
着火点	400°C付近		
溶解度(水)	不溶		

10. 安全性及び反応性

安定性 安定
反応性 熱分解を起こすと塩化水素ガスを発生する。

11. 有害性情報

皮膚腐食性	該当なし
刺激性(皮膚、眼)	該当なし
感作性	該当なし
急性毒性(50%致死量等を含む)	該当なし
亜急性毒性	該当なし
慢性毒性	該当なし
がん原性	該当なし
変異原性(微生物、染色体異常)	該当なし
生殖毒性	該当なし
催奇形性	該当なし
その他	該当なし

12. 環境影響情報

分解性	該当なし
蓄積性	該当なし
魚毒性	該当なし
その他	該当なし

13. 廃棄上の注意点

リサイクル可能物質なので、処理業者に委託、回収して再利用する。

14. 輸送上の注意

一般重量物運搬上の注意

15. 適用法令

PRTR法 三酸化アンチモン(1-31)

16. その他の情報

ここに記載された内容は、現時点で入手できる資料・情報・データに基づいて作成しており、新しい知見により訂正されることがあります。
